

秘 海外事業活動基本調査

平成21年本社企業調査票

総務省承認	No. 2 7 7 2 9
承認期限	平成22年5月31日まで

提出期限	平成21年8月31日
提出先	経済産業大臣

(この欄は経済産業省が記入します。)

□□□□□ - 00000 - 00

バーコード

この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護され、統計を作成するためだけに使用されるもので、申告者に利害関係を生じさせるような目的に使用されることはありません。
この調査の調査時点は平成21年3月31日(2009年3月31日)現在で記入してください。年度実績は平成20年度(2008年度)について記入してください。
金額はすべて円建とし、百万円未満を四捨五入してください。
記入に当たっては「調査票記入の手引」を参照してください。
昨年までにご報告いただいた内容で、**1**企業の概要をプレプリントしています。その後変更のあった箇所については —— で消して、上書き修正してください。

(記入内容について照会する場合がありますので、記入内容の照会先を記入してください。)

(記入者の氏名)	(所属部署名)
	(電話番号)

1 企業の概要

101	(フリガナ) 企業名								
102	(郵便番号) 所在地	□□□□□	-	□□□□□					
103	業種分類	業種番号	業種名			* 業種番号、業種名は「調査票記入の手引」の業種分類表を参照してください。なお、業種名が不明の場合は、貴社の具体的な業務内容を記入してください。			
104	消費税の取扱	1. 税込み	* 次頁の売上高に消費税が含まれているか、該当する番号に 印を付けてください。						
		2. 税抜き							
105	資本金 又は出資金	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万	* 払込済資本金の額、又は出資金の額を記入してください。

- 備考欄 -

<裏面に続きます>

2 企業の操業状況等

2 - 1 調査対象海外現地法人の有無

2009年3月31日現在の海外現地法人の有無について該当する番号に 印を付けてください。

201	1. 有り	日本側出資比率の合計が10%以上等である調査対象現地法人が存在する。
	2. 無し	日本側出資比率の合計が10%以上等である調査対象現地法人は存在しない。

* 調査対象の範囲は「調査票記入の手引」を参照してください。

* 「2. 無し」の場合、これ以降の項目(2-2、3~9)については記入の必要はありません。ただし、調査対象現地法人が年度途中まで存在した場合、現地法人調査票にはその実績を記入してください。

2 - 2 本社企業の操業状況

2009年3月31日現在の本社企業の操業状況について該当する番号に 印を付けてください。

202	1. 操業中	操業中、営業中(2. 初決算前のもは除く。)
	2. 初決算前	設立後まだ最初の決算期が到来していない。
	3. 休眠中	休眠中、休業中
	4. 解散	清算、倒産、吸収・合併等を含む。

* これ以降の項目(3~9)については可能な範囲で記入してください。

3 雇用の状況

本社企業の常時従業者数を記入してください。(年度末)

301	常時従業者数	十	万	千	百	十	一	
		人						

* 常時従業者には有給役員、常用雇用者の合計を記入してください。なお、常用雇用者とは正社員、準社員、アルバイト等の呼称にかかわらず、1か月を超える雇用契約者と年度末又は直前の決算期の前2か月において、それぞれ18日以上雇用した者をいいます。

4 損益計算書項目

		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万
401	売上高								
402	うち輸出高								
403	うち現地法人向け輸出高								

* 輸出高は自社名義で通関手続きを行って、直接輸出した金額及びモノ以外のサービス等取引についても輸出した場合は金額を記入してください。

5 海外からの受取収益

		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万
501	合計								
502	うち配当金								
503	うちロイヤルティ								

* 現地法人からの受取収益(配当金、ロイヤルティ、貸付金利息等)総額を決算ベースで記入してください。

- 6 貴社の主要製品・サービスについて、進出国・地域における外国企業（地場企業*を含む）と比べた製品・サービスの市場シェアの状況として、それぞれ該当するもの1つを選んで表中の欄に 印をつけてください。

進出先		外国企業に比べシェアを確保できている	外国企業とシェアは拮抗している	外国企業に比べシェアを確保できていない
601	米国			
602	E U			
603	中国			
604	ASEAN4			
605	NIEs3			
606	ベトナム			
607	インド			
608	ロシア			
609	東欧			
610	中東			
611	メキシコ			
612	ブラジル			
613	オーストラリア			
614	その他 (国・地域名)			

* 地場企業：進出先現地国籍の企業

- 7 貴社は、平成20年度（2008年度）に新規投資（海外現地法人の設立、海外企業への資本参加）、又は追加投資（増資等）を行いましたか。

701

1	はい
2	いいえ



8、9の設問にお答えください。



これ以降の項目については記入の必要はありません。
ご協力ありがとうございました。現地法人調査票の記入についても
よろしく願いいたします。

8 投資決定のポイントについて

投資を決定した際のポイントについて、次の中から3項目まで選んで番号に 印を付けてください。

801	1	現地政府の産業育成、保護政策
	2	良質で安価な労働力が確保できる。
	3	技術者の確保が容易
	4	部品等の現地調達が容易
	5	土地等の現地資本が安価
	6	品質価格面で、日本への逆輸入が可能
	7	現地の製品需要が旺盛又は今後の需要が見込まれる。
	8	進出先近隣三国で製品需要が旺盛又は今後の拡大が見込まれる。
	9	社会資本整備が必要水準を満たしている。
	10	納入先を含む、他の日系企業の進出実績がある。
	11	税制、融資等の優遇措置がある。

9 今後の海外戦略について

今後(5年を目途)の海外展開について次の項目から該当する地域ごとに表中の欄に 印を付けてください。

		北米	ア ジ ア				ヨーロッパ*	その他地域
			中国	ASEAN4	NIEs3	その他アジア		
901	現地法人を新たに設立(合併や現地企業の買収等を含む)又は資本参加等を行うことで海外事業体制を拡充する。							
902	既存現地法人のみによる現状を維持する。							
903	今後海外事業体制を縮小する。							
904	現地企業等の中で委託生産を行う、又は、今後検討する。							

* ASEAN4は、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピンの4か国です。
 * NIEs3は、シンガポール、台湾、韓国の3か国・地域です。

ご協力ありがとうございました。現地法人調査票の記入についてもよろしくお願いたします。



海外事業活動基本調査

総務省承認	No 2 7 7 3 0
承認期限	平成22年5月31日まで

平成21年現地法人調査票

提出期限	平成21年8月31日
提出先	経済産業大臣

(この欄は経済産業省が記入します。)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

バーコード

この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護され、統計を作成するためだけに使用されるもので、申告者に利害関係を生じさせるような目的に使用されることはありません。
 この調査の調査時点は平成21年3月31日(2009年3月31日)現在で記入してください。年度実績は平成20年度(2008年度)について記入してください。
 金額はすべて円建とし、百万円未満を四捨五入してください。
 記入に当たっては「調査票記入の手引」を参照してください。
 昨年までにご報告いただいた内容で、**1**現地法人の概要、**2**出資状況をプレプリントしています。その後変更のあった箇所については——— で消して、上書き修正してください。

1 現地法人の概要

101	現地法人名	(アルファベット)			
102	国・地域分類	国・地域番号	国・地域名		* 国・地域番号、国・地域名は、「調査票記入の手引」の別表1 国分類、地域分類表を参照してください。
103	州・省分類	州・省番号	州・省名		* 州・省番号、州・省名は、国・地域分類が「アメリカ」あるいは「中国」の場合に「調査票記入の手引」の別表2、3の州・省分類表を参照してください。
104	業種分類	業種番号	業種名		* 業種番号、業種名は、「調査票記入の手引」の業種分類表を参照してください。なお、業種名が不明の場合は、貴社の具体的な業務内容を記載してください。
105	設立・資本参加時期	年	月		* 設立時期と資本参加時期が異なる場合は資本参加の時期を記入してください。
106	決算月	月			
107	子会社 孫会社の別	該当する番号に印を付けてください。	孫会社の場合の直接の親会社名(アルファベット)		
		1.子会社 2.孫会社			
108	持株会社 非持株会社の別	該当する番号に印を付けてください。	* 純粋持株会社、事業持株会社の定義については、「調査票記入の手引」の9ページを参照してください。		
		1.純粋持株会社 2.事業持株会社 3.持株会社ではない			

2 出資状況

(年度末)

201	資本金又は出資金	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万	* 為替レートの変動は反映させず、出資時のレートを継続的に使用して換算してください。増資した場合は増資をした時点のレートを使用して換算してください。
202	日本側出資比率							%	* 資本金又は出資金に占める日本側出資合計額の比率を、小数点1位まで記入してください。孫会社の場合は「子会社への日本側出資比率」×「子会社の孫会社への出資比率」となります。

<裏面に続きます>

3 操業状況

2009年3月31日現在の操業状況について、該当する番号に 印を付けてください。

301	操業状況	1. 操業中	操業中、営業中（2. 初決算前のもは除く。）の場合。	5 「雇用の状況」以降の全ての項目について記入してください。
		2. 初決算前	設立後又は出資後、最初の決算期が到来していない場合。	
		3. 未設立・未操業	届出後まだ設立されていない場合、あるいは操業していない場合。	5 「雇用の状況」以降の項目についても可能な範囲で記入してください。
		4. 休眠中	休眠中、休業中	
		5. 解散、撤退	解散（清算、倒産等を含む。）、撤退（売却、吸収・合併、統合、移転（他国・他地域への転居）等）により日本側合計出資比率が0%となった場合。	4 「解散、撤退、出資比率の低下の状況」のみ記入してください。
		6. 出資比率の低下	日本側合計出資比率が0%超10%未満となった場合。	

4 解散、撤退、出資比率の低下の状況

（3 「操業状況」において「5. 解散、撤退、6. 出資比率の低下」を選択した企業のみ記入してください。）

4-1 解散、撤退、出資比率の低下の時期

「解散、撤退、出資比率の低下」となった時期について該当する番号に 印を付けてください。

411	解散、撤退 出資比率の低下の時期	1. 平成19年度（2007年度）以前
		2. 平成20年度（2008年度）

4-2 解散、撤退の要因

解散、撤退の主たる要因について、次の中から該当するものを1つ選んで番号に 印を付けてください。

421	解散、撤退 の主たる要因	1. 製品需要の見誤りによる販売不振・収益悪化
		2. 現地企業との競争激化による販売不振・収益悪化
		3. 日系企業との競争激化による販売不振・収益悪化
		4. 第三国系企業との競争激化による販売不振・収益悪化
		5. 為替変動による販売不振・収益悪化
		6. 現地パートナーとの対立
		7. 組織再編、経営資源の見直し等に伴う拠点統廃合
		8. 地域内関税自由化等の動きに対応した拠点統廃合
		9. 税制上の優遇措置の見直し等に伴う拠点統廃合
		10. 短期的な事業目的（ホテル、マンション、ゴルフ場建設等）の完了
		11. その他

3 「操業状況」が「5. 解散、撤退」及び「6. 出資比率の低下」の企業は、ここまでで終わりです。次項以降には記入の必要はありません。ご協力ありがとうございました。

5 雇用の状況

（年度末）

		総 数				
		万	千	百	十	一
501	常時従業者数					人

* 有給役員、常用雇用者の合計を記入してください。常用雇用者とは、正社員、準社員、アルバイト等の呼称にかかわらず、1か月を超える雇用契約者と前2か月において、それぞれ18日以上雇用した者をいいます。

6 事業活動の状況

6 - 1 . 売上高

		平成20年度（2008年度）実績額							平成21年度（2009年度）見込額								
		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万
611	売上高																
612	日本向け輸出額																
613	うち親会社向け																
614	現地販売額																
615	うち日系企業へ																
616	うち地場企業へ																
617	第三国向け輸出額																
618	内訳	北米															
619		アジア															
620		ヨーロッパ															
621		その他の地域															

* 輸出額は自社名義で通関手続きを行って、直接輸出した金額を記入してください。

* モノ以外のサービス等取引についても、輸出した場合は、612,613,617～621の該当する欄に記入してください。

* 契約先と仕向先が異なる場合は仕向先に記入してください。

* 地場企業：進出先現地国籍の企業。外資系企業は含めません。

* 当該現地法人の所在する国内での販売額を記入してください。ただし、中国本土 - 香港間の販売については、617. 第三国向け輸出額及び619. アジアの欄に記入してください。

* 例：米国に所在する現地法人が、米国で販売した場合、614. 現地販売額に、カナダで販売した場合は、617. 第三国向け輸出額及び618. 北米に記入してください。

*** 売上高 = 日本向け輸出額 + 現地販売額 + 第三国向け輸出額 になります。**

6 - 2 . 仕入高

		平成20年度（2008年度）実績額							平成21年度（2009年度）見込額								
		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万
622	仕入高																
623	日本からの輸入額																
624	うち親会社から																
625	現地調達額																
626	うち日系企業から																
627	うち地場企業から																
628	第三国からの輸入額																
629	内訳	北米															
630		アジア															
631		ヨーロッパ															
632		その他の地域															

* 輸入額は自社名義で通関手続きを行って、直接輸入した金額を記入してください。

* モノ以外のサービス等取引についても、輸入した場合は、623,624,628～632の該当する欄に記入してください。

* 契約先と実際の輸入先が異なる場合は、実際の輸入先で記入してください。

* 地場企業：進出先現地国籍の企業。外資系企業は含めません。

* 当該現地法人の所在する国内からの仕入額を記入してください。ただし、中国本土 - 香港間の仕入れについては、628. 第三国からの輸入額及び630. アジアの欄に記入してください。

* 例：米国に所在する現地法人が、米国から仕入れた場合、625. 現地調達額に、カナダから仕入れた場合は、628. 第三国からの輸入額及び629. 北米に記入してください。

*** 仕入高 = 日本からの輸入額 + 現地調達額 + 第三国からの輸入額 になります。**

7 費用、収益・利益処分、研究開発の状況

7 - 1 . 費用

		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万
711	営業費用	売上原価							
712		販売費・一般管理費							
713	営業費用内訳	給与総額							
714		賃借料							

* 営業費用内訳には、売上原価に属する経費と販売費・一般管理費に属する経費の合計額を記入して下さい。

7 - 2 . 収益・利益処分

		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万
721	経常利益（損失）								
722	法人税等								
723	当期純利益（損失）								
724	当期内部留保額（取崩）								
725	平成20年度末内部留保残高（欠損）								

* 当該国の会計原則で経常損益の概念がない場合は、税引前損益を記入してください。
 * 経常利益、当期純利益が損失、当期内部留保額が取崩、年度末内部留保残高が欠損の場合、頭部に「」を付けて下さい。
 * 税引前当期純利益から控除される税金費用（法人税、住民税等）の合計額を記入してください。
 * 当期内部留保額 = 当期純損益 - 役員賞与 - 配当金
 * 年度末内部留保残高 = 自己資本 - 資本金 - 資本準備金

7 - 3 . 支払い費用

		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万
731	日本側出資者向け支払い費用								
732	うち配当金								
733	うちロイヤルティ								
734	日本側出資者以外への支払い費用								

* 現地法人から日本側出資者への支払い費用（配当金、ロイヤルティ、借入金利息等）総額を決算ベースで記入してください。

7 - 4 . 研究開発費

		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万
741	研究開発費								

* 試験研究のための人件費、物件費に、研究関係有形固定資産の減価償却費、共同研究分担金、研究委託費を含めて記入してください。

8 設備投資の状況

		平成20年度（2008年度）実績額							平成21年度（2009年度）見込額								
		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万
801	設備投資額（土地を除く）																

* 設備投資額は、当該期間中の有形固定資産（建設仮勘定を含み、土地を除く）の償却前の取得額を記入してください。

業種分類が製造業（業種番号0401～1906）の場合には該当する番号、箇所に 印を付けてください。

9 主要製品について

9 - 1 . 業種分類が製造業（業種番号0401～1906）の場合、主要製品について、どちらか該当する番号に印を付けてください。

901	1. 最終財
	2. 中間財

* 企業の製造設備等の資本財や建設財、家計に消費されるもの。

* 最終財を生産するために必要な部品や加工品

9 - 2 . 製造機能の主たる製造形態と、その技術水準について、該当する箇所に 印を付けてください。

	製造形態	技術水準		
		日本より高い技術水準	日本と同等の技術水準	日本より低い技術水準
902	日本との工程間分業			
903	日本以外の国との工程間分業			
904	一貫生産			

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。